

# お爺さん鬼

石井 勲 編



漢字絵本 3



空

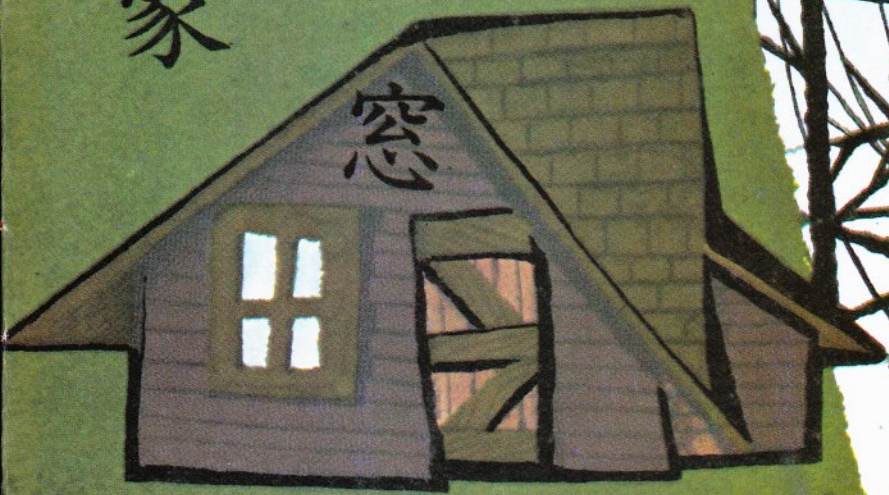
林

山

山奥に鬼の家がありました。

鬼の家

窓







鬼



山奥に鬼の家が

ありました。

お父さん鬼と

お母さん鬼は

優しい鬼でしたが

お爺さん鬼が

乱暴でしたから、

人間たちは

鬼を恐れて、

近づこうとは

しませんでした。

二人の子供は、

人間の子供たちと



この本には鬼が登場します。『鬼ってほんとにいるの』と尋ねる子には、『昔はいたんだって。今でもいるかも知れない。だれでも意地悪ばかりしているとこわい顔になり、頭に角がはえてくるんだよ。だから、君だって意地悪ばかりしていると、頭に角がはえてきて鬼になってしまうかも知れないよ』と答えます。すると、真剣な顔をして頭をそつと撫でてみる子供もいます。



遊びたいと思っ  
ていましたが、  
遊んでもらうこ  
とができません。  
二人の子鬼は、  
いつもさびしい  
思いをしていま  
した。

お父さん鬼とお  
母さん鬼は、  
子鬼が人間の子  
供たちに遊んで  
もらえるように、  
服を着せたり、  
髪の毛をとかし  
たりして、かわ  
いく見えるよう  
に一所懸命です。





お父さん鬼



着せたり、

鬼は、子鬼に服を

お父さん鬼とお母さん

大根

人参

芋





髪の毛をと  
かしたりし  
ました。

お母さん鬼

子鬼





でも、やっぱり

人間の子供たちは、

遊んでくれませんでした。

二人の子鬼が

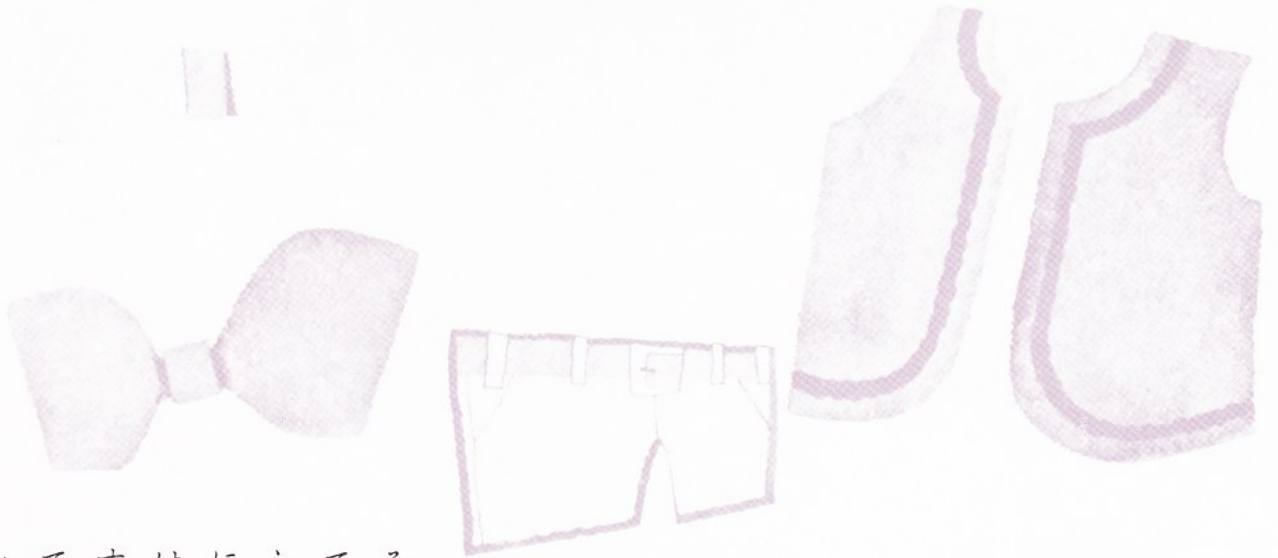
泣きながら帰って来ると、

お爺さん鬼は二人を

山奥に連れて行き、

縄飛びやブランコをして

遊んでくれました。



さて、この物語りは、  
その鬼が主人公になっ  
ています。鬼は、昔か  
ら、いろいろな物語り  
に出て来ます。鬼  
は悪者、ということで  
すが、子供たちにとっ  
ては、何となく憎めな  
い存在ではないでしょ  
うか。



「鬼の子供は  
人間の子供と  
遊んでは  
いけないのだ」  
お爺さん鬼は  
そう言いました。



それに、私は、何でもかんでも、「良い」か「悪い」かの型にはめて、一方的に決めつける考え方に賛成できませんので、鬼とは悪い者、という型を破ってみたいと思いました。一度、悪者と見なされたら、どんな善意も認められず、すべてが悪いものに見なされてしまう。「あいつは悪いやつだから、あいつのすることは悪いはずだ」という考えです。恐ろしいではありませんか。



青い空

林

子鬼

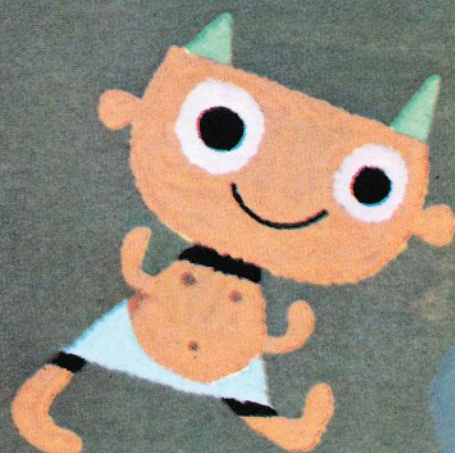
（縄）縄飛び



# お爺さん鬼

## 山

二人の子鬼は、お爺さん鬼  
と元気よく遊びました。





子鬼たちが

あんまり元気よく

なっただので、

山の鬼や狸たちも

びっくりして

それを見ていました。

ある日、

お父さん鬼と

お母さん鬼は、

子鬼たちに





きれいなボールを

買って来て

くれました。

二人が

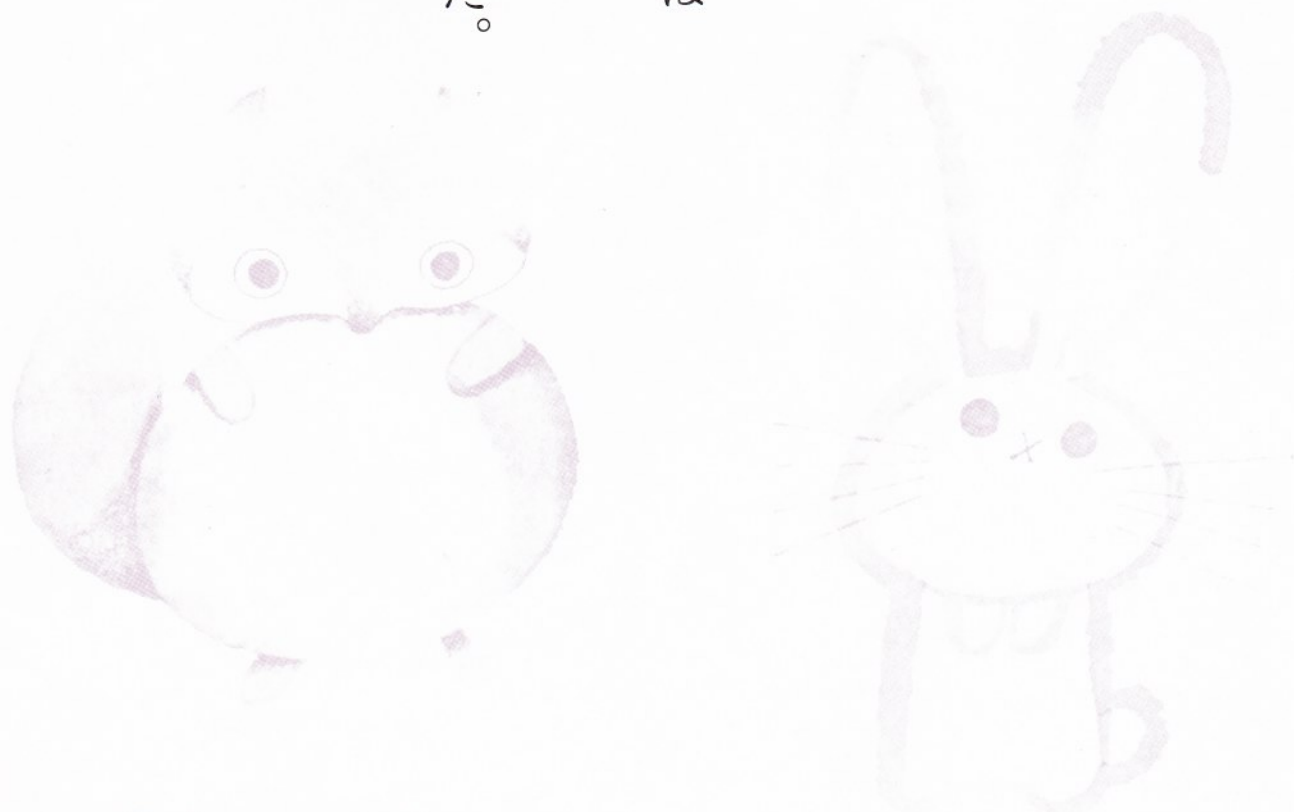
そのボールを

持って行くと、

人間の子供たちは

喜んで仲間に

入れてくれました。



世の中には、「善人」というもの、「悪人」というものはいないのです。善いことをする人、悪いことをする人がいるだけです。

悪いことをする人も、初めはちょっとしたいたずらだが、思いがけない方向に発展して、大変なことになってしまった、ということが多いものです。

だから、私たちの心の中には、鬼と同じものが住んでいる、ということができるのです。だから、自分で自分の心を制御する、ということが大変なことであり、大切なことだ、と思うのです。



人間の  
子供

女の子

二人の子鬼は  
人間の  
子供たちと  
楽しく遊びました。

鬼の  
子供





並木

広場

男の子





鬼の子供は

力が強いし、

速く走れるので、

人間の子供たちの

人気者になりました。

でも、子鬼が

人間の子供たちと

仲良しになると、

お爺さん鬼は

機嫌が悪くなって、





毎日、こわい顔  
ばかりしている  
ようになりました。

それで、

お爺さん鬼が

町へ

出かけて行くと、

どの家でも、

戸を

しめてしまいました。



かなは漢字に比べて  
覚えにくいものですが、  
“青い空”というよう  
にして、漢字との関連  
でいつともなく読める  
ようになっていきます。  
かなは表音文字ですか  
ら、漢字のように意味  
を持たない、ただ音だ  
けを表わす文字だとい  
うことを理解させるこ  
とが大切です。それに  
は、“行く”という言  
葉で、“行”は“いく”  
という字だが、“行か  
ない”という時には“い  
か”と読み、“行きま  
す”では“いき”と読  
むことを理解させます。







星

お爺さん鬼



お爺さん鬼が町に  
出かけて行くと、  
どの家でも、  
戸をしめて  
しまいました。



ある晩のことです。

お爺さん鬼が顔を

しかめていました。

牙が虫歯になって、

ずきんずきんと

痛むのです。

でも、人間嫌いの

お爺さん鬼は、



| 掃 |   |   |    |    | 動 |   |   |    |    | 行 |   |   |    |    |
|---|---|---|----|----|---|---|---|----|----|---|---|---|----|----|
| こ | け | く | き  | か  | こ | け | く | き  | か  | こ | け | く | き  | か  |
| う | ば | こ | ま  | な  | う | ば | こ | ま  | な  | う | ば | こ | ま  | な  |
| よ | い | ど | した | いよ | よ | い | ど | した | いよ | よ | い | ど | した | いよ |



歯医者さんに

直してもらおうと

しません。

そのうちに、

我慢できなくなつて、

涙をぼろぼろと

流し始めました。



“働く” “泣く” “書く” “咲く” このような言葉は、皆、“かきくけこ”と変化する言葉です。このような言葉で、“ないよ。ました。こと。ばよい。うよ”に続けて、言葉の変化を知らせ、表音文字というものを理解させるのです。



歯



お爺さんは、とうとう  
歯医者さんの所に出かけ  
て行きました。

戸棚







歯医者さん

椅子



歯医者さんは、お爺さん鬼  
に注射をすると、虫歯になっ  
た牙を、ぐいと引き抜いて  
しまいました。

それで、痛みはすっかり  
取れてしまいました。

牙のなくなったお爺さん鬼は  
優しい顔になり、村の子供た

こういう指導で、『意  
味のある言葉は漢字で、  
意味のない言葉はかな  
で』という、漢字かな  
混り文の書き方の原則  
がほんとに体得される  
のです。こういう指導  
が今までなかったので、  
漢字で書くべき言葉を  
かなで書いたり、かな  
で書くべき言葉を漢字  
で書くという混乱が生  
れ、学習した漢字が実  
際にはなかなか使える  
ようにならない、とい  
う理由があつたのです。

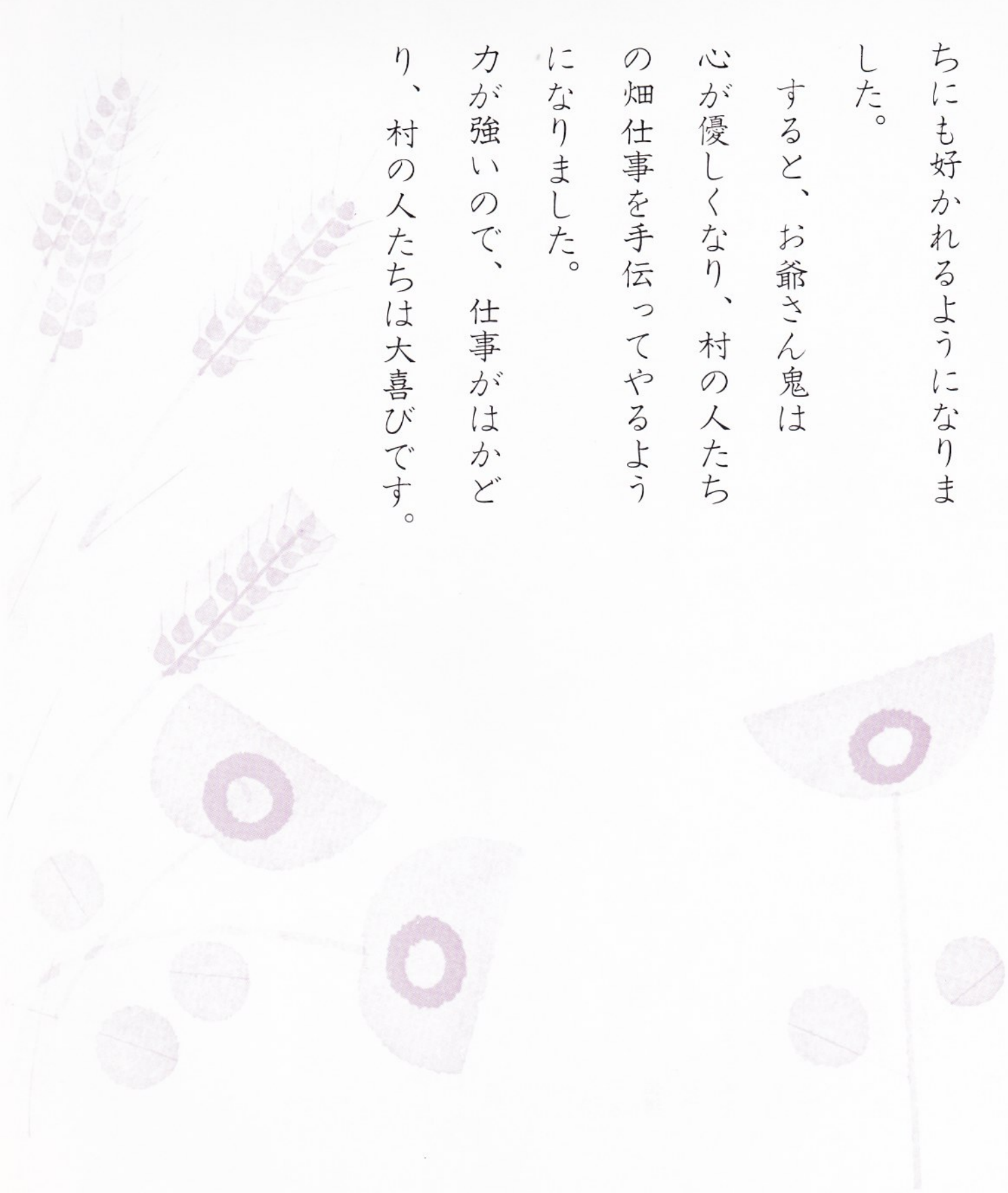


ちにも好かれるようになり  
ました。

すると、お爺さん鬼は

心が優しくなり、村の人たち  
の畑仕事を手伝ってやるよう  
になりました。

力が強いので、仕事がかど  
り、村の人たちは大喜びです。





お日様

青空

お父さん鬼もお母さん鬼も、優しくなったお爺さん鬼と、楽しく働いています。

子鬼

お母さん鬼





木

山

お父さん鬼

畑

お爺さん鬼







この絵本は、幼児に読んで聞かせるための絵本です。漢字が多いので読みやすく、幼児の表情を伺いながら読むことができます。だから、この本を使いますと、幼児は本を読んでもらうことの楽しみを知り、繰返して読んでくれるよう求めます。こうして、幼児はすっかり文を覚えてしまい、本を読むまねを始めます。そうなれば、自然と文字も読めるようになります。でも、文字を教え込もうと思っではいけません。子供が自然に読めるようになるのを待つことです。

石井勲の漢字教室 別巻 4  
本好きになる漢字絵本 3

発行 双 柿 舎  
東京都中央区銀座4-14-11  
電話 03(545)2250(代表)